

子どものひきこもりへの対応 講演と話し合いの会

日時 2006年4月7日(金) 12:30-15:00

会場 アミュゼ柏(柏市中央近隣センター) 5階D会議室

講演 「ひきこもりと進路、家族のかかわり方」—その6—

講師 篠原裕也先生

(中央総合キャリア研究開発機構主任教授)

参加人数 20名

参加費 500円/名

参加申し込み 事前に下記連絡先へお申し込み下さい。

主催 ひきこもり等青少年期問題相談会(柏市登録サークル)

大切な我が子が、もしある日突然ひきこもってしまったら、親は一体どのように対処したら良いのでしょうか。

陥りやすい誤りは、父親が厳しい態度をとり、「早く外へ出て自立せよ。働く根性を持って。」と、叱咤激励することです。お子さんが心のゆとりを持っていないとき、それは空振りに終わってしまいます。まず取るべき第一歩は、お子さんの気持ちを親としてしっかりと理解してあげることから始めなければなりません。しかしこれがなかなか難しいのです。

この会では、最新の心理学・カウンセリングを基本として、親のお子さんに対する正しい接し方を学びます。ご指導して下さるのは、篠原裕也先生です。篠原先生はキャリアカウンセリングがご専門で、心理学全般にわたり造詣が深く、現在厚生労働省が進めている、ニート、フリーターなど若者の就労支援事業にアドバイザーとして、積極的に取り組んでおられます。

この会では次のような活動をしています。

- ◎ご家族が本音で感じていること、悩みを話し合える場とする
- ◎ひきこもりから抜けだし社会復帰を果たした事例の紹介
- ◎お子さんが立ち直りの兆しを見せた段階で利用する、厚生労働省等が進めている就労支援施設(若者自立塾、ヤングジョブスポット、就労体験支援機関など)に関する情報の提供
- ◎ご自分のケースについてのカウンセリング

我が子を必ず立ち直らせるのだという信念を持って共に歩みましょう。皆様のご参加をお待ちいたしております。

連絡先 ひきこもり等青少年期問題相談会
ファシリテータ 福田隆三

TEL 0297-66-6266 FAX 0297-86-6630

email rzfukuda@kjf.biglobe.ne.jp

